

滋賀の文化情報誌

デュエット

Duet

2014 春 vol.112



新撰 淡海木間撰 56

雷雲蒔絵鼓胴(銘 初音)

INFORMATION STATION

催し案内 2014 春

MYBOOK 自費出版物の紹介

SUNRISE BOOK PRESS

サンライズ出版の新刊案内

特集

留学生がめぐる滋賀のミュージアム

特集

留学生がめぐる 滋賀のミュージアム

滋賀県博物館協議会と環びわ湖大学・地域コンソーシアムが協力して、英語版の滋賀の博物館・美術館ガイドブック『(仮) Discover the Museums in Shiga』を制作するために、滋賀県立大学と立命館大学びわこ・くさつキャンパスに在籍している留学生の皆さんが、滋賀県の博物館や美術館を取材しました。

写真／辻村耕司・秋山廣光・松田征也・サンライズ出版



ジャエさん [タイ]
(Thonhongsra Jitsupa)
立命館大学理工学部
情報理工学人間情報科学コース



アンさん [中国]
(晏春妮)
滋賀県立大学人間文化学部



昨年11月2日、竹生島にて。右奥が宝蔵寺宝物殿（アンさん、ジャエさん、ケニーさん）



ダミさん [スリランカ]
(Katudampe Vithanage Damith Suresh Chathurang)
立命館大学理工学部
情報理工学人間情報科学コース



ケニーさん [マレーシア]
(Choy Chee Ken)
立命館大学理工学部
情報理工学人間情報科学コース



昨年11月10日、彦根城博物館にて（ケニーさん、ジャエさん、ダミさん）

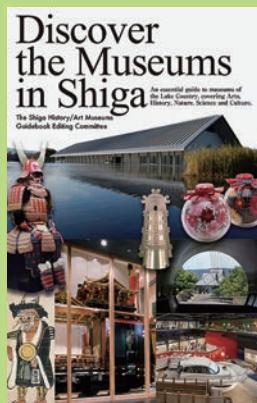
Discover the Museums in Shiga

現在制作中（2014年3月完成予定）

A5判変形、112ページ、オールカラー

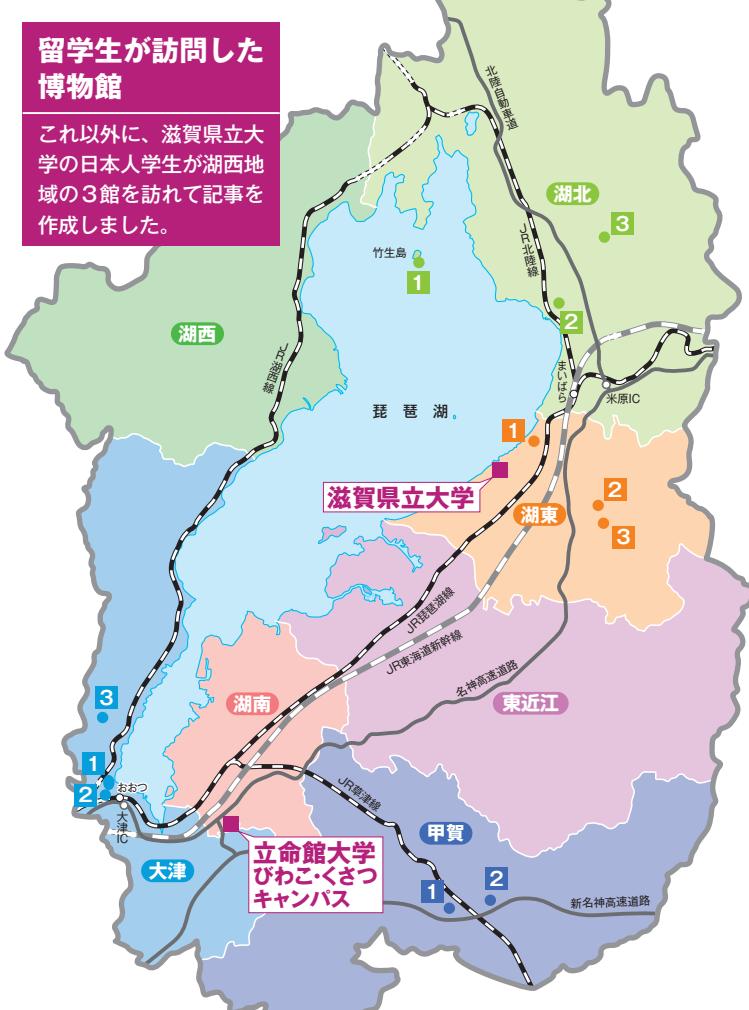
※タイトルと表紙デザインは変更される場合があります。

滋賀県にある博物館・美術館70館の紹介と留学生と日本人学生が取材した地域別の「おすすめコース」を全文英語で掲載。市販ではなく、環びわ湖大学・地域コンソーシアムを通じて留学生への無料配布と、博物館協議会加盟館で外国人向けに配布を予定しています。



留学生が訪問した博物館

これ以外に、滋賀県立大学の日本人学生が湖西地域の3館を訪れて記事を作成しました。



湖北コース

浅井歴史民俗資料館にて。ジャエさん(左)がはいているのが、インタビュー (p8) で語られている「ブーツ」



湖東コース

多賀町立博物館にて。約180万年前の地層から発見されたアケボノゾウの復元骨格



大津コース

アンさんの地元、湖南省にある洞庭湖の「瀟湘八景」をもとに選ばれた「近江八景」について説明を受ける



甲賀コース

甲賀忍術博物館にて。手裏剣などの武具の展示の他、敷地内で忍術修行もできる





仕事で日本に出張して好きになったので、
また奨学金をもらって来ました。—— ジャエさん

専攻は英米文学ですが、宮崎駿監督の映画は
とっても好きでした。—— アンさん



—— 滋賀県内の博物館・美術館を回っていただいた留学生さんのうち、今回は滋賀県立大学のアンさんと立命館大学のジャエさんにお話をうかがいます。

博物館についてお聞きする前に、まずお二人のことをお尋ねします。最初の打ち合わせでお会した時から気になっていたのですが、ジッスパーさんは、なぜ「ジャエ」というのですか？

ジャエ タイではみんな、お互いのことをあだ名、ニックネームで呼んでいます。大人になってから仕事の場面などでも。

——それがジャエ。どういう意味があるのですか？

ジャエ 「いないいないばあ」という意味です。

——えーっ(笑)。

ジャエ お父さんが赤ん坊の私をあやすために初めて言った言葉が、「ジャエ」でした。両親がそれをあだ名にしたんです。

——なるほど、本名とは別に必ずそういうあだ名があるんですね。

ジャエ タイでは、お父さんやお母さんが好きなものがあだ名になったりします。スポーツ好きのお父さんの子が「ゴルフ」とか(笑)。なぜかわかりませんが、英語で「アーム(腕)」という子もいました。仕事でも、そのあだ名を使うので、知り合って何年も経っていても、みんな本名はあんまり知らないんです。

——アンさんの場合も、ミランダ(Miranda)という英語名があるようですが、これは？

アン 学校で英語を習うときに、先生から英語の名前を自分でつけるように言われます。それからは、授業中はみんな英語の名前で呼び合ってます。なんか、雰囲気が出るから(笑)。私のミランダという名は、大学に入ってから英語の授業の先生から「皆さんの英語名はなんですか？」と聞かれた時につけました。

——ミランダにしたのは、なぜですか？

アン ある映画に出てくる、好きな主人公の名前がミランダだったからです(笑)。

——おもしろいですね。では、もう少しそれぞれが生まれ育ったお国のことを聞かせてください。ジャエさんは、タイのどこですか？

ジャエ バンコクです。バンコクはチャオプラヤー川という大きな川をはさんで、西が住宅地、東は会社などがあるビジネス街になっていて、私は西に住んでいました。

——アンさんは滋賀県が友好提携を結んでいる湖南省の大学からの交換留学生ですが、生きたのは？

アン 湖南省で生まれ、大学に入るまでもずっとそこで育ちました。

——湖南省だと、平和堂には行ったことがあるんですか？

アン あります(笑)。ずっと、子供の時からありましたから。「湖南省長沙市に湖

南平和堂が開店したのは、1998年」
すると、滋賀県ことは知っていたのですか？

アン いいえ。大学で院に進んでから、交換留学制度の説明があり、「滋賀県に行きますよ」と言われてから、初めて知りました。それまでは、「滋賀県」って全然聞いたことがありませんでした。

——湖南省にある大きな湖が……。

アン トンティンフー。

——洞庭湖ですね。住んでいたところは、その湖に近かったですか？

アン いいえ、私が住んでいたのは、湖南省でも南の方で、大学が洞庭湖の近くの町にありました。そして、大学院は平和堂のある長沙チャンシャにありました。理系の大学ですが、英語と新聞と中国語も専攻できます。私の院に進んでからの専攻は英米文学です。

——では、日本へ留学することにしたのはなぜですか？ まずジャエさん。

ジャエ 立命館大学の奨学金をもらって来ました。

——ジャエさん、お年は？

ジャエ 28歳です。大学を卒業して、一度は就職もしていました。

——社会人になったけれど、もう1回勉強をしようと思ったのは、なぜですか？

ジャエ 仕事をしているとき、日本に3カ月半ぐらい出張しました。そこで日本のことが好きになったので、また奨学金をもらって来ました。

アン えーっ、すごい。

ジャエ はい。バンコクにあるタイへ進出した日系企業のサポートなどを行っている会社で働いていました。その間に、私は日本のトヨタ本社に出張することになり、愛知県豊田市に来ました。そこには、タイ以外にも中国などいろいろな国から社員が出張

してきていました。

——日本語を勉強したのは？

ジャエ 高校でちょっとだけ勉強して、大学でもちょっとだけ勉強していました。でも、習っていた先生自身がほとんど日本語は話せなかったので(笑)。豊田市に来ていた間は、英語でコミュニケーションをとっていました。

——その豊田市の生活で日本が好きになったのですか？ あるいは、その前から日本が好きだったのですか？

ジャエ その前から日本の漫画が好きでした(笑)。一番好きだったのは、「花より男子」などの少女漫画。でも、「ドラゴンボール」や「ドラえもん」も好きでした。それから「ちびまる子ちゃん」や「あたしんち」も。今の立命館大学での勉強が終わったら、前の会社でまた働くのですか。

ジャエ まだ、どうするかは決めていません。今の専攻だと、研究テーマしだいであるんな仕事ができると思うのですが、そのテーマをまだ私は決めていないので。

——では続いて、アンさん。

アン 私の専門は英語なので、行くならイギリスやアメリカなのでしょうが(笑)。でも、第二外国語で日本語をとっていて、日本の映画も好きでした。宮崎駿監督の作品はとっても好きです。だから、絶対に日本に行ってみたいと思いました。

——ジブリのアニメでは何が好きですか？

アン 「となりのトトロ」、それから「千と千尋の神隠し」。中国でも、日本のアニメや漫画はとっても影響がありますよ。

ジャエ タイでも小さいころからずっと見てるから。

アン 日本語を勉強する海外の学生は、ほとんどその影響を受けています。

——マレーシアから来ているケニーさんもア

ニメやゲームが好きでしたね。スマートフォン
の画面で何かの画像を見せてくれたこと

——日本料理で好きなのは、トンカツと卵焼き。
——ジャエさん

彦根は田舎ですが、生活が便利です。

これは中国と全然違いますね。——アンさん



——では、続いて滋賀県に来てからのことをお聞きします。ジャエさんが住んでいるのは大学の寮ですか？

ジャエ はい。大学の近くにある留学生の寮に住んでいます。少しですが、その寮には日本人の学生もいます。大学の授業は全部英語なので、日本人といっしょに勉強しています。

——食事は自炊ですか？

ジャエ はい。一番近いスーパーまでは歩いて15分ぐらいで、けっこう遠いですが。

——野菜などでも、タイの野菜と似たものを買ったり？

ジャエ ああ、ちよっと違いますね。でも、野菜はあまり好きじゃないから(笑)、あまり気にしていません。

——(笑)それは意外。タイの女性はパランスのとれた健康的な食事をしているイメージを勝手に持っていたので。肉が好きなんですか？ 何肉？

ジャエ はい。豚肉(笑)。日本料理で好きなのは、トンカツと卵焼き。それから、からあげ。餃子も好きだけど、あれは中華料理ですね。

——アンさんが住んでいるのも大学の寮ですか？

アン 寮ですが、大学から遠くて、自転車
で25分ぐらいかかります。彦根城南にある
ベルロードという商店街の平和堂の近く。

があります。ダミさんは忍者好きだったし
(笑)。

——日本人学生用の寮で定員が少ないので、交換留学生だけ入居できます。普通の留学生はアパートを借りて住んでいます。

——やはり自炊して？

アン 自炊で、中華料理を作っています(笑)。

——日本の料理では何が好きですか？

アン ラーメン大好き(笑)。

ジャエ やっぱ中華料理？
アン でも、日本のラーメンは、中国の麺料理とは違います。あれは日本独自の料理です。

——そうですか、トンカツとラーメンですか(笑)。

ジャエ 卵焼きはめっちゃおいしい。あと肉じゃがもおいしい。

——日本料理というところ、お刺身などですが、生の魚は食べられますか？

アン あれはなかなか、なれない。
ジャエ 刺身だったら、赤い魚(マグロ)は大丈夫。白いのと皮がついているのは無理かな。

——じゃあ、寿司は食べたいと思わない？

ジャエ 卵焼きなら。
アン でも、回転寿司なら、生のお魚以外にもいろいろな種類があるから大丈夫(笑)。

——滋賀県に住んで印象に残ったこととして、一昨年の冬、ジャエさんは雪が降ってすごく喜んだと話していましたね。

ジャエ 今年も少しだけ降ったから、夜パジャマとサンダルで外に出て遊びました(笑)。撮った写真があります。友達もいっしょに、ほんとに少ない雪だったけど、みんな雪をかき集めて。(スマートフォンで写真を見せる)

アン これはなんですか？ ネコ？

ジャエ 鬼かな？

アン 私も大きな雪だるまを作りました。南彦根はたくさん降ったので。湖南省でも雪が降ることはありますが、それほどではありません。滋賀県はすごいと思いました。

季節の順番が逆になりましたが、博物館



↑アンさん作の雪だるま。ご覧のとおり「トトロ」(アンさん提供)



↑ジャエさんと友人たちが雪を集めてつくった雪だるま(ジャエさん提供)

← 昨年11月16日、ジャエさん、ケニーさん、ダミさんが訪れた愛荘町(ミズウラキ)金剛輪寺の紅葉(ジャエさん提供)



館を取材に回っていた頃は秋だったので、みんな紅葉をすごく喜んでいましたね。

ジャエ きれいです。日本は黄色だけじゃなくて、赤、オレンジ、いろいろな色があります。タイだと緑からちよつと黄色になって、あとは黒く、枯れちゃう。

他に滋賀県の印象は？

ジャエ ネイチャー、自然の美しさも味わえるし、シテイ、街も近い。だから、いいところだと思います。琵琶湖もある。琵琶湖は何回行っても海みたい。

アン 私は学校が琵琶湖の隣だから、毎日見えています。彦根は田舎ですが、生活が便利です。これは中国と全然違いますね。



腕が何本もある像も日本では、
仏像なんですか？

えっ、神社は神様なの？ アニメでは、
妖怪が神社によくいますよ。

アンさん

中国は都会と田舎が分かれて、都会は人だらけという感じですか？

アン そう、そう、そう。田舎に行ったら生活が不便になっちゃうし。

日本だと、田舎に行ってもコンビニや小さなスーパーがあったりして不便しない。

アン そう、そう。

ジャエ でも、私の寮は裏が山だから何にもありません。サルもいます。

アン サル？ サルがいますか？

彦根でも山の方へ行くと、サルがいます。

アン えーっ、見たい。

ジャエ 山だから、自転車で買い物に行くときはちよつと大変です。

次は、皆さんに回ってもらった博物館

についての感想を聞きたいのですが、ジャエさんはタイだから仏教徒ですか？

ジャエ はい。

日本のお寺でも拜んでいるのですか？

ジャエ はい。いいと思います。

行ったことはありますか？

ジャエ はい。神社とか。

アン 神社は……。

仏教ではありません。

ジャエ 仏教じゃないの？

アン 神社は妖怪。妖怪とか昔死んだ人とか。

妖怪ではありません(笑)。神、神様。

アン えっ、神社は神様なの？

妖怪みたいな神様もいますが(笑)。

中国は都会と田舎が分かれて、都会は人だらけという感じですか？

アン そう、そう、そう。田舎に行ったら生活が不便になっちゃうし。

日本だと、田舎に行ってもコンビニや小さなスーパーがあったりして不便しない。

アン そう、そう。

ジャエ でも、私の寮は裏が山だから何にもありません。サルもいます。

アン サル？ サルがいますか？

彦根でも山の方へ行くと、サルがいます。

アン えーっ、見たい。

ジャエ 山だから、自転車で買い物に行くときはちよつと大変です。

ジャエさん

みたいなのがありますね(笑)。「昔死んだ人」というのは間違いはありません。菅原道真や歴代天皇も祀られていますから。

アン アニメでは、妖怪が神社によくいますよ。

ジャエ 「ようかい」って何？

アン モンスター。

とにかく、ジャエさんは神社をお寺の一種だと思ってた？

ジャエ 違うの？

昔は神仏習合(しんぶつしゅうごう)といって、二つが混ざっていた時代も長くあったので、難しいですが……。ケニーさんのマレーシアも宗教は仏教なのかな？

ジャエ いっしょ。竹生島に行った時、仏教だと言っていました。

ジャエ いっしょ。竹生島に行った時、仏教だと言っていました。

ジャエ いっしょ。竹生島に行った時、仏教だと言っていました。

レポーターの4人が撮影した写真



↑「近江八景」のひとつ、「唐崎の夜雨」の唐崎の松も見学しました。(アンさん)

→大津絵美術館に隣接する円満院本堂は、ノスタルジックでも日本的な美しさを持った建築物です。(アンさん)



↑昔の格好になって、私は石臼で「Kinako」をひいています。(ジャエさん)

→生糸を生産している農家の中。「こんにちは」と声をかけそうになるほど、リアルな人形が立っています。(ジャエさん)



↑宝厳寺の弁才天堂に入ると…What's this? 小さな赤い人形がいっぱい。それぞれに願いをひとつ書くことができます。(ケニーさん)



↑Hmm...I put on the kimono now! (ケニーさん)



↑彦根城博物館では、江戸時代の大・井伊家の屋敷の中を歩くこともできます。(ケニーさん)



←この博物館では、忍者によって使用される多くの武器や人目をくらますためのコスチュームなどを展示しています。(タミさん)

↓滋賀県で最も大きな60cm反射望遠鏡！ 私たちは太陽の黒点やプロミネンスを見ました。(タミさん)



——ダミさんのスリランカはどうですか？ たしか仏教徒が多い国ですよね。ジャエ ダミさんは豚肉を食べるし、イスラムではないと思う。
——ちなみに、天究館のあとで紅葉を見に行ったところは金剛輪寺で、神社ではなくてお寺です。アンさんの場合はどうですか、中国では宗教は？
アン 私は無宗教です。家族は、祖母だけが仏教徒で、他の人はみんな信仰がないです(笑)。祖母だけは毎年、仏教の有名な「山」に行きます。それは本当にすごい数

の人が、観光バスやケーブルカーを乗り継いで、高い山の上の大きなお寺にお参りします。
——アンさんは延暦寺にも行きましたが、もっと大きい？
アン もっと大きいです。仏像も大きくて、ピラピラした感じ。おじいさんやおばあさんだけではなく、30代〜4代のおじいさん、おばあさんもおおせい子供連れで行きます。
——ジャエさんは、日本の仏像を見て、どう思いましたか？
ジャエ 腕が何本もある像も、日本では仏

像なんですか？ あれは、本当の仏教ではないのでは？ タイでなら、それらはヒンドゥー教の神だと言います。たとえば(千手観音像の写真をさして)これは「カリー」というヒンドゥー教の神に似ています。これ(聖観音坐像)だったら、「ブツダ」と呼びます。でもこれもあつちも、日本では同じ「カンノン」と呼んでいるのが不思議です。
——なるほど、本来はタイの人の感覚が正しいのかと思いますが、知識がないので私は答えることができません。



タイにある道具とも似ているものがありました。
まったく同じではないけど、似てる。—— ジャエさん
中国と違って、日本では何でも博物館に
入っているような気がします(笑)。—— アンさん

訪問した博物館の中では、どこがおもしろかったですか？

ジャエ アザイミュージアム(浅井歴史民俗資料館)はおもしろかったです。

私は同行できなかったコースなので、写真を見ただけですが、昔の道具を使ったり、着物を着たり、みんな楽しそうでしたな。

アン あれは楽しい。

ジャエ タイにある道具とも似ているものがありました。まったく同じではないけど、似てる。

—— やっぱり米を食べてきた国ということで、農村の道具や家の形は似ているところがあるでしょう。自分の国の田舎の暮らしを見にいったように感じたのでは？

ジャエ はい。おもしろかったです。

アン ちょっと違うけど(笑)。湖南省では、あそこにあったブーツは見たことない。

—— あれは雪の中を歩くためのフラッグ？

ジャエ あんまり時間がなかったから残念でした。

—— 日本の着物も着ましたね。

アン 楽しかった。

ジャエ 男の子のケニーも楽しんでた(笑)。

—— ケニーも好きそうですね。ああいうコ
スプレ。ポーズもピシッときめてるし(笑)。

ジャエ 見るだけじゃなくて、ここはたくさん経験できて……。

アン 体験。

ジャエ タイケン？ 体験できてよかった。

彦根城博物館はどうでしたか？

ジャエ 彦根城博物館もスタッフの人がついて説明してくれたので、とてもおもしろかった。行った場所で、タイ人が知っているのは琵琶湖と彦根市です。「ひこにゃん」はタイでもけっこう有名なので。

アン お城は、中国の古い建物と似ています。けれど、ちょっと違う。

—— 多賀町の天宮館で太陽を見たのは？

ジャエ スタッフがいろいろ丁寧に説明してくれたのがよかった。日本語だけだいたいわかりました。外国人旅行者には英語の方がいいけど(笑)。たまに英語の説明もあるけど、しゃべってくれた方がいい。

アン 書いてある言葉は読みませぬね。

ジャエ 読まない。

—— やっぱり、英語の音声で説明があるのがベストだと。アンさんが一人で行った大津はどうでしたか？

アン 大津も楽しかった。大津絵美術館の建物はとても日本っぽい。それと比叡山から見下ろした琵琶湖はとてきれいでした。洞庭湖はまわりにあまり山がないので、上から見下ろしたことがあります。

—— 自分の国の博物館と違うところは？

アン 中国ではとても珍しいものだった博物館に入ります。日本では何でも入っているような気がします(笑)。

—— (笑)それはそうかもしれない。ふつうにいる生き物や、ふつうに使われていた暮

らしの道具などが展示されていますね。

アン でも、おもしろい(笑)。たぶん中国ではこういう博物館は作らないように思っています。

—— タイでは、こういう昔の暮らしを展示しているような場所はありますか？

ジャエ わかりません。私が見ないだけであるのかもしれないし。タイの場合、田舎にある博物館はもっと観光っぽいです。

アン それから日本の場合、博物館の数がかつても多いと思います。

—— いま、滋賀県には博物館協議会の加盟館で70あって、非加盟館を入れると90館以上あることになりました。

アン すごくいですね。

ジャエ 同じ滋賀県なのに、こつち(長浜市の浅井歴史民俗資料館)とこつち(大津市の伊香立^{かたがひ}「香の里」史料館)で別の民俗資料館があるのは、なぜですか？

—— 琵琶湖をはさんでこつちとこつちでは、使ってる道具もちょっとずつ違います。方言^{ほうご}(話し言葉)が違うのと同じように、地域差があるから。

アン たぶん、中国で滋賀県くらいの大きさの地域だったら博物館は1館か2館しかないと思う(笑)。

—— 中国は広いからね(笑)。

アン だから、文化財をとっても重視している、大切にしていると思います。日本では、どこでもこうですか？

—— 滋賀県は博物館や美術館の数は多い方ですね。京都・奈良と隣り合っていて、自然も歴史・文化も豊かなところですから。海外の人にも、京都、奈良、滋賀の順で知ってもらえるようになるのとありがたいです。今日はどうもありがとうございました。

ジャエ・アン ありがとう、ございました。

雷雲蒔絵鼓胴（銘 初音）

MIHO MUSEUM
桑原康郎

雷光を螺鈿と高蒔絵、渦巻く雲を高蒔絵と截金で表わした豪華な鼓胴で、白拍子であった静御前が所用し、雨乞いの鼓として知られる「初音の鼓」との伝承を持つ。また、鼓の受にある朱漆の銘文より、永享2年（1430年）源左京大夫持信が琵琶湖の竹生島に奉納したことがわかる。竹生島には水に関係のある弁財天様や龍神様が祀られており、雷雲の蒔絵はまさに相応しい。雷鳴のような鼓の迫力ある音が聞こえてくるようだ。

この鼓胴には織田信長の書状が2通付随している。その内の1通は信長から竹生嶋惣山中宛の朱印状で「青葉の笛は到来した。まことに見事な名物である。しばらくらく手元において見たのち返す。この笛を当山へ寄進したのは誰で、その子細はどのようなことか、これに添う小笛の由来について

も知りたい。また静所持という小鼓の胴は雷の蒔絵と聞く。ぜひ見たいものである。磯野に申しておくのでよろしく頼む」とある。ここから、信長が竹生島に寄進されていた「青葉の笛」と共に、この「雷の蒔絵の小鼓」を見たであろうことが読み取れる。

「青葉の笛」にもさまざまな伝承があるが、その一つとしてまず平家の笛の名手・平敦盛の名が思い浮かぶ。「敦盛」といえば信長が好んで舞ったと伝えられる能の演目であり、「青葉の笛」や「雷の蒔絵の小鼓」をぜひ見たいと所望した信長の執心ぶりを彷彿とさせる。この「青葉の笛」は弘化2年（1845）、当時の彦根藩主・井伊直亮の要望により竹生島から献上され、現在は彦根城博物館の所蔵となっている。

本作は、蒔絵技法や寄進銘からみて、製作年代は静御前の生きていた時代まで遡らないと考えられるものの、天正年間には静御前所用の鼓として伝えられた名器である。



1口 室町時代 15世紀 高27.5cm 口径12.5cm
MIHO MUSEUM 蔵

参考文献

- 灰野昭郎「雷雲蒔絵鼓胴」
『学叢』第五号 京都国立博物館 1983
加藤 寛『日本の美術 No. 477 蒔絵鼓胴』至文堂 2006
『MIHO MUSEUM 北館図録』MIHO MUSEUM 1997



市指定文化財 明智光秀
書状(戦国時代・個人蔵)

入館料: 大人 800円、高大生 400円、小中生無料
お問い合わせ先: TEL 077 (521) 2100

憧れの地 満州

—滋賀縣満洲報國農場を舞台に—

開催中～6月22日(日)
滋賀県平和祈念館



報国農場・本部前にて
(上村清子さん提供)

昭和19年2月、食糧増産を目的に満州東北部に滋賀県満州報国農場が開設され、青年学校などから選ばれて派遣されてきた隊員が約半年間の農作業に従事しました。憧れを抱きながら満州へ渡り、時代の流れに翻弄された勤勞奉仕隊員の体験から、戦時の出来事をふりかえります。

休館日: 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)

入館料: 無料

■戦争体験者お話し

「滋賀県報国農場について」
3月15日(土) 午後1時30分～

会場: 2階 研修室
話者: 神戸幸子さん

定員: なし 参加費: 無料

お申込方法: 3月14日(金)までに、メール、ファックスまたはお電話で、お名前と連絡先(電話番号など)をお知らせください。

お申込・お問合せ:

TEL 0749 (46) 0300 / FAX 0749 (46) 0350

メールアドレス: heiwa@pref.shiga.lg.jp

滋賀県満州報国農場勤勞奉仕隊旗(神戸幸子さん提供)



や大仏造立、藤原仲麻呂の乱)を紹介するとともに、各時代の様相を垣間見れる資料を展示し、近江に都が置かれた意味を考えます。
休館日: 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日)

入館料: 大人860円、高大生 610円、小中生400円、
県内高齢者(65歳以上) 460円

■博物館講座

「中央集権国家をめざした天智の都・大津京」

3月23日(日) 午後1時30分～

講師: 林 博通氏(滋賀県立大学名誉教授)

定員: 140名 料金: 500円(資料代等)

お問い合わせ先: TEL 0748 (46) 2424

華麗なる能装束

—浦部家コレクション—

開催中～4月13日(日)
愛荘町立歴史文化博物館



赤地菊流木文様唐織(個人蔵)

小鼓と笛(個人蔵)

愛荘町で、浦部好太郎(1903～1984)から3代にわたって能楽を継承してきた浦部家に伝わる能装束・道具を展示します。

入館料: 大人 300円、小中学生150円

休館日: 月曜・火曜・祝日の翌日(3月22日は開館)

お問い合わせ先: TEL 0749 (37) 4500

湖都大津のこもんじょ学

開催中～4月13日(日)
大津市歴史博物館

大津市に関わりの深い、戦国武将や寺社、村や町に関するさまざまな古文書を一堂に集めて大公開。読み方や学び方だけでなく、古文書の鑑賞方法、また次世代へ引き継いでいくべき身近な文化財として紹介します。

休館日: 月曜・祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)

商家に伝わるひな人形めぐり

開催中～3月23日(日)

近江商人博物館、観峰館、
五箇荘近江商人屋敷(外村繁郎、外村宇兵衛邸、中江準五郎邸、藤井彦四郎邸)、八年庵、金堂まちなみ保存交流館



外村宇兵衛邸に伝わる御殿雛(江戸時代)

江戸時代から受け継がれる家宝雛を中心に、明治・大正・昭和も含む各時代の商家のひな人形たちを五箇荘地区内の8会場で展示。ひな人形の歴史や飾り方など豆知識も紹介。期間中、着物姿の来場者は無料入館や、おひなさまの衣装を着ての記念撮影(無料)、各食事処では「ひな御膳」も登場。

入館料: 近江商人博物館 大人200円、小人100円/近江商人屋敷3館共通(外村繁郎・外村宇兵衛邸・中江準五郎邸) 大人600円、小人300円/近江商人屋敷藤井彦四郎邸 大人300円、小人100円/上記5館共通入館券 大人900円、小人410円/観峰館(期間中特別料金) 大人(高校生以上)200円/八年庵 大人(中学生以上)500円/金堂まちなみ保存交流館 無料

休館日: 開催期間中は無休

お問い合わせ先: TEL 0748 (48) 2100

(東近江市観光協会)

近江三都物語

—大津宮・紫香楽宮・保良宮—

開催中～4月6日(日)

滋賀県立安土城考古博物館

おまつのみや ほらのみや しがらきのみや 大津宮・保良宮(ともに大津市)・紫香楽宮(甲賀市)の三つは、それぞれ短い期間ながら宮が置かれ、我が国の政治の中心となりました。それぞれの宮都とそれを巡る政治的事件(近江朝庁や壬申の乱、聖武天皇の遷都



滋賀大学経済学部創立90周年記念 わが青春の彦根

滋賀大学経済学部陵水会 発行
四六判上製本 総352頁 非売品

問合せ先 TEL 0749 (26) 3028 (陵水会)

彦根高等商業学校の時代も含め、滋賀大学経済学部が昨年で創立90周年を迎えたことを記念して製作された、卒業生100名が彦根の町で過ごしたそれぞれの学生時代の思い出を綴る随筆集。(2013.11.1刊)



満洲逃避行秘録

—故郷をめざして—

小野友文・小野弘文 著
四六判並製本 総200頁 非売品

問合せ先 大津市朝日2-4-4 (著者)

工鉱技術員養成所の教師として渡満、やがて補充兵として召集されて終戦。霧雨の降る夜、私はソ連軍の収容所から、決死の脱走を試みた。——随所に理系技術者らしい観察眼が生かされた逃避行の記録。(2013.12.20刊)



は・歯・ハの話

—医患協同で歯を守ろう—

井田 亮 著

B 6判並製本 総110頁 888円+税

むし歯のできない口の環境づくりに取り組んでいる歯科医である著者が、最先端の「3DS」というむし歯菌除菌方法をはじめ、地域や学校で取り組む予防歯科について紹介している。(2013年11.1刊)

書店で
発売中



今日の日も神にもたれて

岩見ちる 著

A 4判並製本 総32頁 非売品

問合せ先 湖南市岩根1179 (園田昌子)

茨城県の貧しい農家の五女に生まれ、小学校を卒業すると奉公に。結婚を目前に婚約者が戦死。さまざまな運命に翻弄されながらも、信仰を道しるべとして歩んできた人生を振り返る。52歳で死別した夫へ書き続けた手紙「天国のあなたへ」も収録。(2014.1刊)

魚米之郷を語る

—太湖・洞庭湖の水辺の暮らし—

3月22日(土) 午後1時~5時
滋賀県立琵琶湖博物館ホール



中国では、水産物や農産物、水などの自然資源が豊かな平野地域を「魚米之郷」と称してきました。世界の米づくりの起源地ともいわれる中国・長江下流の太湖と中流の洞庭湖における淡水漁労と水田稲作、運河・井戸などの水環境をテーマに、中国の研究者を招聘して国際講演会を開催します。

参加費：無料(事前申込要)

お申込方法：名前、連絡先の電話番号をハガキ、電話、FAX、電子メールのいずれかの方法でご連絡ください。

〒525-0001 草津市下物町1091

琵琶湖博物館「日中講演会」係

TEL 077 (568) 4811 FAX 077 (568) 4850

メールアドレス：gyomai@lbm.go.jp

演目(予定) ※予告なく変更する場合があります。

「太湖の水環境をどう捉えるか」

湖南省博物館館長 陳 建明

河海大学環境学院教授 朱 偉

「洞庭湖の湿地生態環境の適正管理と暮らし」

洞庭湖湿地センター副センター長 謝 永宏

「太湖の魚・漁業と環境は共存できるか」

中国水産科学院淡水漁業研究センター 楊 健

「長江流域の先史時代水田稲作」

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 榎林啓介
講演後、意見交流会

お問い合わせ先：TEL 077 (568) 4811



書店で
発売中

古墳時代前期の王墓

—雪野山古墳から見えてくるもの—

竜王町教育委員会 編

四六判並製本 総264頁 1800円＋税

ヤマト政権との関係のうかがわせる三角縁神獸鏡を含む218点もの埋蔵物が発見された雪野山古墳。発見から四半世紀、その謎を解明してきた研究者による講座が一冊。



書店で
発売中

近江学 第6号

成安造形大学附属近江学研究所 編

AB判並製本 総96頁 1800円＋税

暮らしと信仰の場を照らしてきた「火」の文化を特集。燻蜺を用いつづける和ろうそく職人、中世に花開いた風流の精神を伝える豪華な火祭り、国友鉄砲鍛冶の流れをくも県下唯一の火師など、近江各地にともる「火の物語り」。



書店で
発売中

企業が伸びる地域が活きる

—協働推進の15年—

岸田眞代 編著

A5判並製本 総146頁 1500円＋税

第9回パートナーシップ大賞受賞の事例集を収録すると同時に、創立15年を迎えたNPO法人パートナーシップ・サポートセンターの足跡をたどる。



書店で
発売中

ざっくばらん 雑口罵乱⑦

企画・編集／DANWASHITSU

A5判並製本 総270頁 1000円＋税

滋賀県立大学で建築を学ぶ学生が企画・運営する講演「DANWASHITSU」のレクチャー集。豪華ゲストによる講演会(末光弘和氏、井手健一郎氏ほか)と、学生と県立大学教授陣との活発な議論の交わされる座談会を掲載。



書店で
発売中

近江の祭礼行事 3

かんじょう 勧請縄 —個性豊かな村境の魔よけ—

写真・文／西村泰郎

B5変並製本 総128頁 2400円＋税

集落の入口や鎮守の参道に大縄を掛け渡し、安全や五穀豊穡を祈願する年頭行事「勧請縄」。中央のトリクグラスの造形などはバラエティに富む。湖東から湖南地域を中心に今も受け継がれる161カ所を収録。



書店で
発売中

とんだいまむかし 富田今昔物語

—近江湖北の一農村江州浅井郡富田村の記録—

川崎太源 著

B5判並製本 総626頁 4500円＋税

「区有文書」と庄屋を務めた一族が残した「川崎文書」などを読み解き、西国30番札所の竹生島との関わりが今も続く富田(長浜市)の江戸時代の姿を案内。

表紙写真 浅井歴史民俗資料館(長浜市)にて。左からジャエさん、ケニーさん、アンさん/右上は、甲賀忍術博物館(甲賀市)にて。タミさん

編集後記 留学生レポーターの一人、アンさんは留学期間が終了し、2月19日に帰国されました。湖南省からメールで届いた記事内容のお返事には、「ときどき変な日本語が出てくるけど、仕方ないなあ」。アンさんもジャエさんも、話しやすいのは、母国語>英語>日本語の順。日本語でのインタビューとなったのは、私の英会話能力のなさゆえです。お許しを。 ⊕

Duetの定期購読をご希望の方は、下記までお申し込みください。

〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1

サンライズ出版株式会社 Duet 編集部

TEL (0749) 22-0627 FAX (0749) 23-7720
(振替) 01080-9-61946

インターネットでDuetがお楽しみいただけます。

<http://www.sunrise-pub.co.jp/>

お申込先